

第27回防衛問題セミナー

テーマ：新たな防衛計画の大綱と北海道の陸上自衛隊

北海道防衛局は、平成26年7月12日（土）に旭川市の後援を得て、旭川市大雪クリスタルホールにおいて、防衛問題セミナーを開催しました。

今回の防衛問題セミナーは、「新たな防衛計画の大綱と北海道の陸上自衛隊」をテーマに、「新たな防衛計画と防衛力整備について」及び「北海道を取り巻く安全保障環境と第2師団」と題して、開催したものです。

冒頭、主催者である北海道防衛局長島川正樹の挨拶に続き、後援者である旭川市の西川将人市長から挨拶が行われました。

講演は、防衛省防衛政策局防衛計画課中嶋浩一郎課長から平成25年12月17日に閣議決定された「平成26年度以降に係る防衛計画の大綱」と「中期防衛力整備計画」の概要、統合運用の観点から、より実効的な統合機動防衛力を構築するために重視すべき機能・能力の整備、北海道における体制整備の方向性など説明していただき、続いて、陸上自衛隊第2特科連隊長南浩1等陸佐から北海道を取り巻く安全保障環境と陸上自衛隊第2師団による活動内容について、北朝鮮、中国、ロシア、米国の国外情勢、防衛大綱に基づく陸上防衛構想、第2師団の即応態勢及び災害派遣活動状況など国民の安心・安全を支える活動内容を説明していただきました。

講演の後、「中国にはサイバー部隊の人員が多くいると伝えられているが、日本のサイバー対策はどのようになっているのか。」という質問があり、南連隊長から、「今後、サイバー戦において大きな影響を受けることから、防衛省内でサイバーに対応した部隊を新設した。」と答えるなどの質疑応答がなされました。

会場には、地元旭川市のほか近隣市町村から110名を超える方々が来場され、「ニュース等で度々聞いている話でも目の前の方が説明してくれるとより興味を持って聞けました。」「有事の際に日本の安心安全は果たして守られるのか不安を感じつつ、通常時の訓練の重要性と北海道の役割の大きさを感じた。」などの声が寄せられました。

当局では、防衛問題セミナーを通じて、防衛政策や自衛隊の活動内容について、多くの皆様に御理解を深めていただければと考えています。

主催者・後援者挨拶

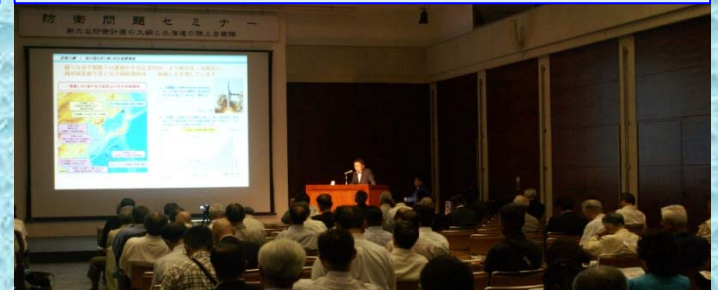


北海道防衛局 島川 正樹 局長



旭川市 西川 将人 市長

セミナー会場の様子



講演者



防衛省防衛政策局防衛計画課 中嶋 浩一郎 課長



陸上自衛隊第2特科連隊長 南 浩1等陸佐